

荒尾市大島浄化センター等運転管理業務委託

事業者選定基準

令和 3 年 6 月 2 5 日

荒 尾 市 企 業 局

目 次

第1章 審査の概要	1
1 本書の位置づけ	1
2 基本的な考え方	1
3 委員会の設置	1
第2章 事業者選定手順	2
第3章 資格審査	3
1 応募資格の確認	3
第4章 基礎審査	4
1 提案価格の確認	4
2 財務状況の確認	4
3 要求水準等の確認	5
第5章 提案審査	6
1 提案評価点の算出	6
2 価格評価点の算出	6
3 総合評価点の算出	7
第6章 優先交渉権者の決定	8

別紙1 提案評価項目	
------------	--

第1章 審査の概要

1 本書の位置づけ

本事業者選定基準は、荒尾市（以下「市」という。）が、荒尾市大島浄化センター等運転管理業務委託（以下「本事業」という。）の事業者を選定するに当たっての手順、方法、選定基準を示すものである。

事業者選定基準は、本事業に参加しようとする者に交付する募集要項と一体のものとする。

2 基本的な考え方

本事業の事業者選定では、民間事業者の技術力・ノウハウを最大限生かすことを目的とし、公募型プロポーザル方式を採用する。

3 委員会の設置

市は、応募者から提出された事業提案書の記載内容の評価に当たって、公平性、競争性及び透明性を確保するとともに、客観的な評価等を行うため、有識者等を含む「荒尾市大島浄化センター等運転管理業務委託評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置した。

市が設置した委員会は、次の5人の委員（敬称略）により構成される。

	所属・役職	氏名
委員長	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授	川越 保徳
委員	国立高専機構 有明工業高等専門学校 創造工学科 人間・福祉工学系 准教授	加藤 浩司
	熊本県 土木部 道路都市局 下水環境課 課長	仲田 裕一郎
	荒尾市 産業建設部 部長	北原 伸二
	荒尾市 企業局 局長	富安 啓二

なお、最優秀提案者の決定までに応募者が委員に対し、事業者選定に関する不要な働きかけ等を行った場合、当該応募者は失格とする。

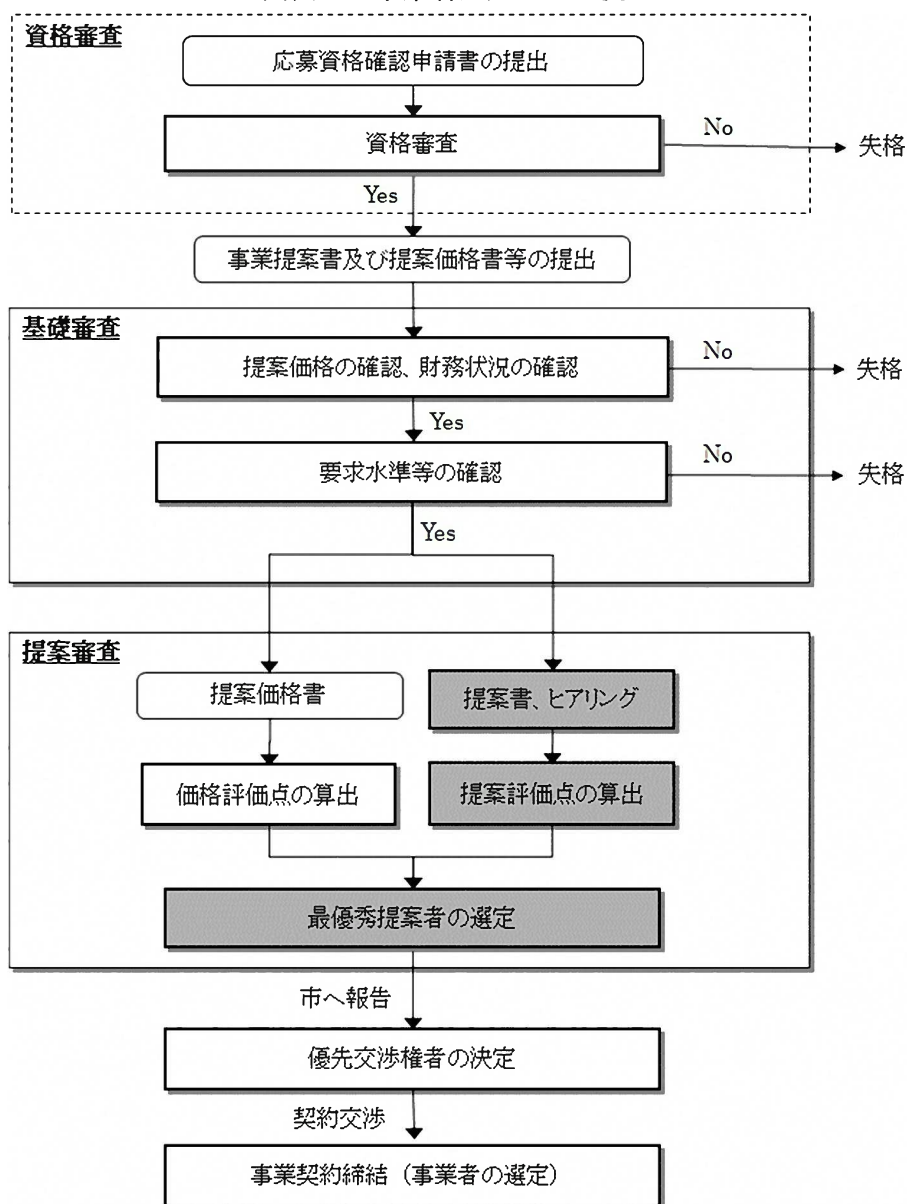
第2章 事業者選定手順

市及び委員会は、下表に示す資格審査、基礎審査及び提案審査を実施する。

資格審査		・応募資格要件を満たしていることを確認
基礎審査		・提案価格の確認 ・財務状況の確認 ・要求水準等の確認
提案審査	提案評価	・提案内容の得点化
	価格評価	・提案価格の得点化

事業者選定までの流れは、下図とおりである。

図表 1 事業者選定までの流れ



※ 図中の網掛け部分は、委員会の所掌範囲を示す。

第3章 資格審査

1 応募資格の確認

(1) 応募資格確認申請書の確認

市は、下記の応募資格確認申請書が全て揃っていることを確認する。書類不備の場合は失格とする。

- 1) 様式2-1 応募表明書
- 2) 様式2-2 代表企業及び構成企業一覧表
 - ・募集要項等に定める総括責任者の資格を確認できる書類
 - ・納税証明書の写し（国税、本店所在地の県税、市町村税）
 - ・登記事項証明書の写し
 - ・定款の写し
 - ・印鑑証明書の写し
 - ・役員等名簿及び照会承諾書（様式任意）
 - ・下水道処理施設維持管理業者登録証の写し
 - ・一般建設業または特定建設業の許可を受けていることを証明する書類の写し
 - ・共同事業体協定書（様式任意） ※複数の構成企業による共同事業体での応募の場合のみ
- 3) 様式2-3 委任状 ※複数の構成企業による共同事業体での応募の場合のみ
- 4) 様式2-4 応募資格確認申請書
- 5) 様式2-5 過去10年間の維持管理実績
 - ・維持管理業務の実績を有していることを証明する契約書の写し

(2) 応募資格要件の確認

市は、応募者が募集要項等に記載した応募資格要件を満たしていることを確認する。応募資格要件を満たしていない場合は失格とする。

第4章 基礎審査

市は、提案価格及び提案内容に関し、以下の「1 提案価格の確認」から「3 要求水準等の確認」までの確認を行う。確認の結果、下記1～3の条件を満たしていない場合には失格とし、文書によりその内容を通知する。

1 提案価格の確認

応募者から提出された提案価格書（様式4－1）が、募集要項に規定する上限額以下であることを確認する。また、提案価格内訳書（様式4－2）について、募集要項等で示す前提条件が正確に反映されているか、また、計算上の誤りが無いかについて確認する。

2 財務状況の確認

応募者から提出された直近3か年の損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書（様式5「事業提案書」の添付資料）について、下記のとおり確認する。

（1）確認対象

応募者（複数の構成企業による共同事業体の場合は、すべての企業）

（2）確認方法

財務状況について、以下の評価項目を満たしているか否か確認する。

なお、明らかに契約遂行能力に不安があり、（各評価項目に対応した指標が一定の基準に達していない場合）、かつ代替信用補完措置も提案されていない場合は失格とする。

（3）確認項目

評価項目	指標評価	内容
資 力	事業キャッシュフロー 総キャッシュフロー	既存の事業活動の中で資金が生み出されているか。なお、次のいずれかの場合は失格、又は、代替信用補完措置が必要となる。 ・事業キャッシュフローが3期連続で総額がマイナス値 事業利益－支払利息及び割引料＋減価償却費 （事業利益＝営業利益＋受取利息＋配当金） ・総キャッシュフローが3期連続で総額がマイナス値 当期純損益－配当及び役員賞与＋減価償却費

信用力	経常収支 自己資本力	過去の経営状況を反映した総合的な信用力があるか。なお、次のいずれかの場合は失格、又は、代替信用補完措置が必要となる。 ・ 経常収支が3期連続で赤字（経常利益がマイナス） ・ 自己資本金（純資産の部合計）が3期連続で債務超過となっている。
債務返済能力	利払能力 有利子負債比率	債務を負担し得る能力があるか。なお、次のいずれかの場合は失格、又は、代替信用補完措置が必要となる。 ・ 利払能力（※）の最近期の値が1.0未満 ※（事業損益＋減価償却費）÷支払利息及び割引料 ・ 有利子負債比率（※）の最近期の値が100%以上 ※ 有利子負債÷使用総資本 （使用総資本＝流動資本＋固定資産＋繰延資産＋割引譲渡手形）
代替信用補完措置	個々の補完措置につき判断	代替信用補完措置が必要である場合、第三者による履行保証等、適切な措置が付されているか。

3 要求水準等の確認

事業提案書において記載されている内容が、要求水準等を満たしているか、要求水準等と矛盾する内容となっていないか確認する。

第5章 提案審査

提案審査では、事業提案書の記載内容に関して、各委員が専門的見地から評価し、その評価結果に基づき、後述する指定の算定式に算入し「提案評価点」を決定する。

また、提案価格に関しては、後述する指定の算定式に算入し「価格評価点」を決定する。

その上で、市は「提案評価点」及び「価格評価点」を合計した「総合評価点」から最優秀提案者を決定する。

なお、「提案評価点」と「価格評価点」の割合は7：3とする。

1 提案評価点の算出

(1) 提案評価項目

提案評価項目の一覧は別紙1のとおりとする。

(2) 評価の方法と得点化

各委員は提案項目ごとに以下のとおり3段階で評価を行う。また、その評価を基に以下の率を乗じて得点化し、その合計を各委員の評価得点とする。

判断基準	評価	得点化方法
特に優れている	A	配点 × 1.0
優れている	B	配点 × 0.8
提案内容が記載されている	C	配点 × 0.6

(3) 提案評価点の算出方法

全委員の評価得点を合計し、評価委員数から平均点を求め、次式にて算出する。

$$\text{提案評価点} = \text{全委員の評価得点の合計} \div \text{評価委員数} \times 70 \text{ 点} \div 100$$

※小数点以下第2位を四捨五入

2 価格評価点の算出

$$\text{価格評価点} = (\text{応募者中最も低い提案価格} \div \text{各応募者の提案価格}) \times 30 \text{ 点}$$

※小数点以下第2位を四捨五入

3 総合評価点の算出

$$\text{総合評価点} = (\text{提案評価点} + \text{価格評価点})$$

第6章 優先交渉権者の決定

市は、委員会における審査及び選定の結果をとりまとめて、速やかに応募者に対して「審査結果通知書」により通知するとともに、市のホームページで公表する。優先交渉権者は公表し、次順位以下は匿名化する。なお、電話及びメールによる問い合わせには応じない。

別紙 1 提案評価項目

事業提案書はA 4 版縦とし、頁数は下表記載頁数以内とする。

提案項目			提案内容	頁数 上限	配点	
1 業務実 施方針	1 - 1 実施方 針	1 - 1 - 1 実施方針	荒尾市の下水道事業には、施設の老朽化、技術職員の減少、ランニングコストの増加などの課題があり、本事業により補っていただくことを期待しています。 そこで、本事業に応募するにあたり、貴社の本事業に対する運営方針について記載し、荒尾市が抱える課題について、貴社がどのように貢献できるかお聞かせください。	4	2点	
		1 - 1 - 2 業務実績	過去10年以内に3年以上継続した維持管理を行った実績のある污水处理施設及び雨水ポンプ場施設で包括的民間委託レベル2以上の業務について、終末処理施設に関しては処理能力、日平均汚水量、処理方式、当初契約日、契約年数（契約が継続されている場合は延べ年数）を、また、雨水ポンプ場施設に関しては排水能力、ポンプ台数、各ポンプの仕様を施設毎に記載してください。	1	2点	
2 業務実 施体制	2 - 1 通常時	2 - 1 - 1 業務履行体制	配置人員と下記の業務における業務履行体制について、具体的に記載してください。 終末処理場 保守点検、運転管理、水質試験 雨水ポンプ場 保守点検、運転管理 雨水ゲート 動作点検、定期し渣収集 また、業務の再委託の予定があれば、その内容について記載してください。	2	2点	
		2 - 1 - 2 配置予定総括責任者、副総括責任者	総括責任者、副総括責任者の経歴と保有資格等について記載してください。	2	2点	
		2 - 1 - 3 有資格者一覧	人員の資格取得状況について記載してください。	1	2点	
	2 - 2 緊急時	2 - 2 - 1 緊急時の業務履行体制	緊急時業務履行体制について、具体的に記載してください。 また、緊急時の対応方針等があれば記載してください。	2	2点	
	2 - 3 災害時	2 - 3 - 1 大雨・台風発生時の配備体制	大雨・台風時配備体制及び雨天時し渣収集配備体制について具体的に記載してください。 また、大雨・台風時の対応方針等があれば記載してください。 大雨・台風時の出動指標について記載してください。	4	5点 5点	
		2 - 3 - 2 上記以外の災害時配備体制	大雨・台風以外の災害時配備体制について具体的に記載してください。 また、災害時の対応方針等があれば記載してください。	2	2点	
3 運転管 理業務	3 - 1 運転管 理業務	3 - 1 - 1 終末処理場	大島浄化センターの標準活性汚泥法による水処理について、下水道維持管理指針のみならず、効率的・効果的な処理（能力、水質）が見込める方法について実績や知見を基に記載してください。	8	5点	
		3 - 1 - 2 雨水ポンプ場	雨水ポンプ場の運転管理で気を付けることを記載してください。	2	2点	
		3 - 1 - 3 エネルギー管理	本事業におけるエネルギー管理について、放流水質と電気量のバランスが重要と考えていますが、水質を保ちつつ、電気量やデマンドをコントロールする手法について貴社の実績や知見を基に記載してください。	2	5点	
	3 - 2 水質管 理業務	3 - 2 - 1 水質基準	本事業における放流水質は季別運転時を除き、事業者からの事業提案で決定したいと考えています。 そこで、硝化促進を前提として効率的・効果的な水処理とエネルギー消費のバランスを考慮し、通年実施可能と考える下記の放流水質を提案してください。 また、脱水ケーキ含水率について記載してください。 BOD、SS、COD、T-N、T-P、脱水ケーキ含水率	1	5点	
		3 - 2 - 2 水質試験業務	本事業において必要な水質分析や汚泥試験等について、頻度や分析方法、外注の別について記載してください。 また、水質異常が発生した場合の水質試験の対応方針があれば記載してください。	6	5点	
	3 - 3 物品調 達管理 業務	3 - 3 - 1 終末処理場、雨水ポンプ場の物品調達	消耗品等の調達や管理について記載してください。	2	2点	
		3 - 3 - 2 災害時の物品調達	災害時の物品調達について記載してください。 また、災害時の提携業者等があれば記載してください。	1	2点	
	3 - 4 季別運 転	3 - 4 - 1 業務実績	季別運転の実績について記載してください。	1	2点	
		3 - 4 - 2 実施方針	季別運転の実施方針について記載してください。	4	2点	
	4 保全管 理業務	4 - 1 保守点 検業務	4 - 1 - 1 終末処理場	保守点検の内容について記載してください。	8	5点
			4 - 1 - 2 雨水ポンプ場	保守点検の頻度について記載してください。		5点
4 - 1 - 2 雨水ポンプ場			保守点検の内容について記載してください。	4	2点	
4 - 1 - 2 雨水ポンプ場			保守点検の頻度について記載してください。		2点	
4 - 2 修繕業 務		4 - 2 - 1 実施方針	要修繕設備一覧の策定方法及び突発修繕に対する対応について記載してください。	4	5点	
		4 - 2 - 2 コスト縮減方法	修繕業務において価格の決定方法やコストを減らす方法について記載してください。	4	5点	
4 - 3 施設管 理業務		4 - 3 - 1 施設管理（施設内清掃、除草、野外清掃、樹木管理等）	施設の管理について内容を記載してください。	6	2点	
		4 - 3 - 1 施設管理（施設内清掃、除草、野外清掃、樹木管理等）	施設管理の頻度について記載してください。		2点	
		4 - 3 - 2 安全衛生管理・保安管理	施設の安全衛生・保安管理についての方針を記載してください。	2	2点	
5 その他	5 - 1 その他	5 - 1 - 1 事業の引継業務について	事業者が変更になった場合の事業の引継ぎ方法について記載してください。	1	2点	
		5 - 1 - 2 ストックマネジメント計画との連携について	荒尾市では令和元年度にストックマネジメント計画を策定し、次期計画を令和5年度に策定する予定で、次期ストックマネジメント計画の策定について、事業者技術協力や情報提供をお願いし、策定に伴うコスト縮減を期待しているところです。 そこで、貴社においてストックマネジメント策定に関してどのような貢献が考えられるか記載してください。	2	5点	
		5 - 1 - 3 地域貢献、市民対応等の考えについて	地域貢献や市民対応について考え方を記載してください。	2	5点	
		5 - 1 - 4 技術の継承や教育システムについて	貴社の従業員教育や資格の取得、技術の継承の考え方について記載してください。	1	2点	
		5 - 1 - 5 従業員の労働環境について	貴社の労働環境の考え方について記載してください。	1	2点	
提案評価点					100点	